

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年11月10日（月）

2 確認箇所

- ・JAEA第2棟建設工事（図1）
- ・固体廃棄物貯蔵庫第11棟建設予定地（図1）

3 確認項目

- （1）JAEA第2棟建設工事の状況
- （2）固体廃棄物貯蔵庫第11棟建設予定地の状況

4 確認結果の概要

（1）JAEA第2棟建設工事の状況

日本原子力研究開発機構（以下「JAEA」という。）は、事故で発生した燃料デブリ等の安全な取り出し等の作業推進に資するための燃料デブリの性状の把握を目的に、福島第一原子力発電所の敷地内に、放射性物質分析・研究施設第2棟（以下「JAEA第2棟」という。）の設置を計画している。

JAEA第2棟の建設工事は令和7年3月31日に着工しており、県においては、当該工事の進捗状況を継続的に確認している。本日は、その取組の一環として現地確認を実施した。（前回確認：令和7年10月20日）

- ・JAEA第2棟の建設状況については、地下1階部分の柱材の設置が概ね完了していた。梁部及び壁面部についても、大型設備機器の搬出入に用いる開口部を除き、ほぼ施工が完了していた。
- ・また、地下1階上部に1階の床を構築するための準備作業が進められていた。JAEA担当者の説明によれば、床面はプレキャストコンクリート※造と鉄筋コンクリート造を組み合わせた構造とする計画であるとのことであった。
- ・建屋内の空気を屋外に排出するための排気筒及びその固定用壁の構築作業が進行していた。排気筒は建物1階部分を超える高さまで設置が進められており、転倒防止措置として四方にワイヤーが張られていた。JAEA担当者によれば、固定壁の構築完了後、当該ワイヤーを撤去する予定であるとのことであった。
- ・資機材の運搬には3基のクレーンが使用されており、玉掛け者、合図者及びクレーン運転士が連携して作業を行っていた。また、作業指揮者を配置し、安全確保に留意しながら作業が実施されていた。

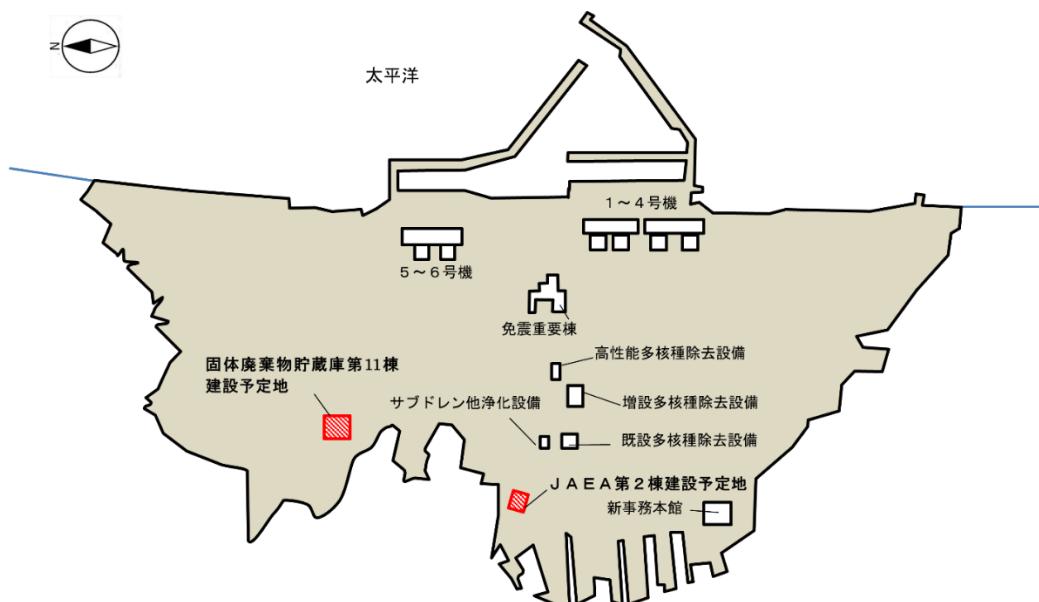
※プレキャストコンクリート：工場であらかじめ製造されたコンクリート製品のこと。建設現場に搬入された後、現場で組み立てられる。現場で配筋して、コンクリートを打設する鉄筋コンクリートよりも、施工期間の短縮や品質の安定化が図れる。

(2) 固体廃棄物貯蔵庫第11棟建設予定地の状況

東京電力では、中長期ロードマップの目標工程である「2028年度内までに、水処理二次廃棄物及び再利用・再使用対象を除く全ての固体廃棄物の屋外での保管を解消」の達成のため、屋外で一時保管されている瓦礫類等の固体廃棄物を屋内保管へ移行し、屋外一時保管エリアの解消を進めている。この取り組みの一環として、固体廃棄物貯蔵庫第11棟（以下「第11棟」という。）を建設し、廃炉作業にて発生する瓦礫類（減容処理設備にて減容処理した瓦礫類を含む）及び焼却設備により発生する焼却灰等の放射性固体廃棄物などを、容器に収納した状態で一時保管する計画としている。

今回は、固体廃棄物貯蔵庫第10棟の西側に位置する第11棟建設予定地の状況を確認した。（前回確認：令和7年9月24日）

- ・建設予定地の北側では、重機による土壤掘削作業が進められていた。
(写真1)
- ・また、建設予定地の北西側では、鋼矢板を用いた山留め工事が実施されていた。
(写真2)
- ・人と重機の接触を防止するため、重機の作業エリアは単管バリケードにより区画されていた。
(写真3)
- ・重機やダンプトラックの作業に対し複数の監視員が配置され、安全に作業が進められていた。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
建設予定地北側の状況



(写真2)
山留め工事の状況



(写真3)
立ち入り禁止のための区画状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。